

イマチニブ錠200mg「明治」

生物学的同等性に関する資料

Meiji Seika ファルマ株式会社

製品情報問い合わせ先

Meiji Seika ファルマ株式会社 くすり相談室
〒104-8002 東京都中央区京橋2-4-16
電話 (0120)093-396 (03)3273-3539
FAX (03)3272-2438

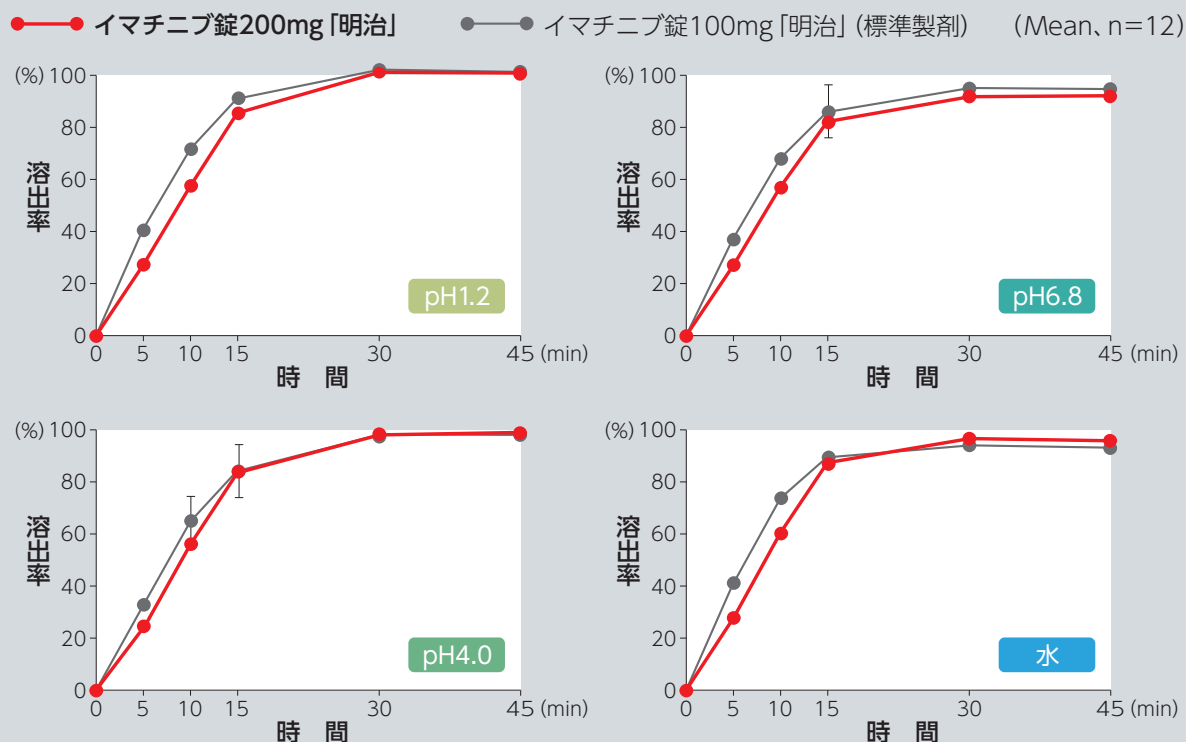
イマチニブ錠200mg「明治」の生物学的同等性試験

イマチニブ錠200mg「明治」は、「含量が異なる経口固形製剤の生物学的同等性試験ガイドライン」に基づき、イマチニブ錠100mg「明治」を標準製剤としたとき、溶出挙動が等しく、生物学的に同等とみなされました。なお、100回転（pH4.0）は、両製剤とも50回転で30分以内に平均85%以上溶出していることから、ガイドラインに従い省略しました。

■ 試験方法：バドル法50回転
■ 試験液量：900mL
■ 試験液温度：37±0.5℃

■ 試験液：①pH1.2（日局溶出試験第1液）
②pH4.0（薄めたMcIlvaineの緩衝液）
③pH6.8（日局溶出試験第2液）
④水

イマチニブ錠200mg「明治」及び標準製剤の試験結果



判定ポイントにおける標準製剤の平均溶出率±10%の範囲を±で示した。

【判定基準】

● 平均溶出率

pH1.2、6.8、水

標準製剤が15分以内に平均85%以上溶出する場合

試験製剤が15分以内に平均85%以上溶出するか、又は15分における試験製剤の平均溶出率が標準製剤の平均溶出率±10%の範囲にある。

pH4.0

標準製剤が15～30分以内に平均85%以上溶出する場合

標準製剤の平均溶出率が約60%及び85%となる適当な2時点において、試験製剤の平均溶出率が標準製剤の平均溶出率±10%の範囲にあるか、又はf2関数の値が50以上である。

● 個々の溶出率

pH1.2、6.8、水

最終比較時点（15分）における試験製剤の個々の溶出率について、試験製剤の平均溶出率±15%の範囲を超えるものが12個中1個以下で、±25%の範囲を超えるものがない。

pH4.0

最終比較時点（15分）における試験製剤の個々の溶出率について、試験製剤の平均溶出率±12%の範囲を超えるものが12個中1個以下で、±20%の範囲を超えるものがない。

準拠したガイドライン：後発医薬品の生物学的同等性試験ガイドライン等の一部改正について（平成24年2月29日付 薬食審査発0229第10号）別紙2